

ほんべつ 議会たより

No.102

2022年(令和4年)
8月1日発行



本別中学校吹奏楽部



本別高等学校吹奏楽部



本別ジュニアプラスアンサンブル

3年ぶりの合同演奏 心をひとつに

6月18日 吹奏楽合同演奏会

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索 



第2回
定例会

飲食店利用促進事業などの
補正予算等を可決

令和4年第2回定例会は6月7日に開会し、各会計補正予算などを審議しました。審議された内容は次のとおりです。

一般会計補正

新型コロナウイルス感染症対策支援

▼飲食店利用促進事業

問 前回、スナック券の販売、利用が伸び悩んでいたが、対策は。

答 飲食店の店内入口や会計時での周知、広告をしていく必要があると商工会と協議をしています。販売の実施時期については、商工会や事業者と調整しながら進めていく予定です。



にぎわいを取り戻そう 街中へ！

▼春季緊急対策支援事業

問 事業内容は。

答 令和4年4月及び5月の売上合計額が、過去3年の同月の売上合計額と比較して20%以上減少した事業者へ、売上減少額

の3分の1（上限あり）を助成します。

プレミアム付き商品券事業

プレミアム率を15%から30%に引き上げ、1セット10,000円を4,000セットから5,000セットに増やし販売します。

問 商品券の内訳は。

答 商品券13,0000円のうち、5,0000円分がプリペイドカード、8,0000円分が紙の商品券となります。

低所得子育て世帯生活支援特別給付金

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給します。

問 自動振込みの対象とならず、申請しない

と給付金が支給とならない方への周知方法は。

答 町広報紙及びホームページでの掲載と、

18歳未満の子を養育している者のうち、高校生のみの養育者については、個別に通知を送付します。

問 合同納骨塚町民アンケート調査の対象者及びアンケート内容は。

答 本別町民が対象で、内容は墓じまいの意向や納骨塚があつたら使用するかなどといったものを検討しています。



墓じまいが進む本別霊園

請 願

新型コロナウイルス4回目接種にかかる接種券の一律送付について中止を求める請願書

新聞報道によると、新型コロナウイルス4回目接種で、本別町は18歳以上の全員に接種券を送付し、基礎疾患を持つ人に申し出てもらうとされています。

接種券の一律送付は、接種が義務だと誤解を招く可能性があり、対象となる基礎疾患を有する方々や重症化リスクが高いと認められる方々には個別対応がふさわしいと考えます。

よって接種券の一律送付について、中止するよう請願します。

(請願者 藤沢 明德)

請願に対して、反対者の討論

柏崎議員・篠原議員

ワクチン接種についての見解は様々で、決めるのは本人である。行政報告でも、

接種対象者は厚生労働省の通知に基づくものであり、接種券の送付については検討中とあったように、町の見解を待ち、尊重したい。

賛成者の討論 梅村議員

道内でも大半の自治体が接種券の一律送付を行わず、本町においても、安心安全かつ経済的で合理的な手法を模索していることがうかがえたため、願意は本町の実情にかなったものであると判断する。

採決の結果

賛成者 1人
反対者 9人



令和4年6月25日から固定資産評価審査委員会委員になる

山下 芳久氏
(勇足東4)

の選任(再任)に「同意」しました。



折込チラシで売り上げアップ

第2回臨時会

開催日 4月27日

一般会計補正

販売促進折込支援事業

問 これまでに同様の事業を行っているが、変更点は。

答 3カ月ごとに1回の助成から、年間を通して4回の助成に変更となります。

令和4年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(6,780万9千円) 72億4,425万5千円	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業などによる増 (臨時会) 低所得の子育て世帯生活支援特別給付金事業、いきいき商品券事業拡大などによる増 (定例会)
特別会計	(△184万3千円) 10億2,958万1千円	国民健康保険 人事異動に伴う人件費の調整による減 (定例会)
	(△9千円) 10億4,814万2千円	介護保険事業 人事異動に伴う人件費の調整による減 (定例会)
	(△112万1千円) 3億5,174万6千円	介護サービス事業 人事異動に伴う人件費の調整による減 冷凍冷蔵庫更新による増 (定例会)
	(△27万2千円) 1億2,334万3千円	簡易水道 人事異動に伴う人件費の調整による減 (定例会)
	(△491万7千円) 4億8,421万3千円	公共下水道 人事異動に伴う人件費の調整による減 (定例会)
水道事業会計	(55万7千円) 3億2,389万2千円	人事異動に伴う人件費の調整による増 (定例会)
病院事業会計	(△183万8千円) 13億123万8千円	人事異動に伴う人件費の調整による減 (定例会)

※第2回臨時会(4月27日開催)含む

第2回臨時会

一般質問

5人の議員から10問

観光

答 きらめきタウンフェスティバルの開催は
感染対策を行う上で今年開催します



柏崎秀行議員

内容の見直しをどう考えているのか伺います。
③その他イベントの開催について町はどのような相談や支援を考えているのかを伺います。

柏崎議員 町の観光や産業振興を図るため感染対策を取り、イベントを再開するべきと考えますが町の見解を伺います。
①町内最大のイベント「きらめきタウンフェスティバル」

は多くの人が期待しているイベントです。各種関係機関とどのような話し合いをしているのか伺います。
②国が示すイベントのガイドラインに沿った場合、



待ちわびた きらめきタウンフェスティバル

佐々木町長 ①J.A、商工会、観光協会、建設業協会、自治会連合会と開催の可否について協議を行い、ガイドライン等に基づく感染対策を行う上で今年開催することに決定しました。

②入場者を把握すること、観覧席や飲食エリアで密集とならないような配置とすること、密集しやすい催しは行わない方向で協議しています。
③感染対策に係る相談、開催に必要な感染防止資機材等の貸し出しを考えております。

教育

答 今こそ平和教育が重要と考えます
本別ならではの平和教育を進めます



阿保静夫議員

阿保議員 ロシアのウクライナ侵攻は極めて理不尽で、ウクライナ国民を思うと胸が痛みます。今、一部に核兵器保有論がありますが、核保有はあってはいけないと考えます。
7月15日は本別空襲の日です。これまで戦争体験者の話を聞くなどの取り組みが行われてきましたが、体験者も少なくなっている中、今こそ平和教育が重要と考えますが、取り組みと見解を伺います。

高橋教育長 資料館において平成13年度から企画展、特別展を開催しており、町内小中学生の見学や体験学習、本別



8月31日まで開催されている資料館企画展

高校での移動展示などの連携事業を進めてきました。

体験を語る方が少なくなってきたりしますが、語り部のお話の映像や音声をDVDに保存し活用するなど、資料館友の会と連携し進めています。
また、高校での公開座談会や企画展の学習会で、語り部のお話を聞くなどの取り組みも行っています。

これからも本別ならではの平和教育を進めていきます。

HPVワクチン(子宮頸がんワクチン)とは…

国は小学6年生から高校1年生相当の女子を対象とした予防接種は接種後の健康被害の報告から、積極的な勧奨を差し控えてきましたが、令和3年11月に安全性について特段の懸念が認められないことなどが確認されたとして、現在は個別勧奨が順次行われています。

ものしり博士から



HPVワクチンのお知らせ(厚生労働省)

藤田議員 子宮頸がんを防ぐには、HPVワクチンの接種による有効性が認められ、令和4年から個別の勧奨を行うとしています。対象者は正しい情報に接した上で接種を検討していただくことが重要



藤田直美議員

暮らし

子宮頸がんを防ぐために

答 検診を受け、早期発見することが最善の予防策です。

① HPVワクチン定期接種の有効性についての考えは、
② 接種を希望する人が機会を逃さないよう、要否を選択するための情報提供と、接種機会を逃した方への支援を。

佐々木町長 ①現在認可されているワクチンは、感染する前に予防することが重要となっています。原因ウイルスに対する予防効果には、高い有効性が示されていますが、定期的に子宮頸がん検診を受け、早期発見することが最善の予防策です。
②ワクチンの効果と副作用などの情報について、個別での案内のほか、健康管理センターだよりやホームページ等で周知を図ります。接種機会を逃した方についても、令和7年3月末まで接種対象者として随時周知します。

ハイヤー事業の柔軟な運用と支援内容拡充を

答 個別の事情にも配慮した検討が必要と捉えております



梅村智秀議員

情を考慮し、ハイヤー事業の柔軟な運用をしていくべきです。また、無償利用分の金額見直しも必要です。
②循環バスもこの4年間で改善がなく、新たな取り組みをする姿勢が欠落しています。国の新規事業、交付金等を獲得し、地域交通、高齢者の交通手段確保など新しい展開を行うべきです。

梅村議員 ①交通手段の確保が本町での生活を継続するための必須条件です。高齢者ドライバーには、通院など帯広へ出ることは難しい方、体調の変化や、冬の運転が困難であるという方、免許返納を検討したい方など、様々な事



多くの人に利用されています

佐々木町長 ①免許や車の有る無しにかかわらず、有事の際にも対応ができる環境は必要と捉え、制度の見直しや拡充を考えるに当たり、個別事案等についても配慮した検討が必要と捉えています。
②アンケートなどで循環バスの利便性の向上を図っていききたいです。新たな施策があれば積極的にその導入に向け国にも要請してまいります。

パートナーシップ制度とは…

同性のパートナーを「婚姻に準ずる関係」と公認し、制度によって公的サービスが受けられるようにするものです。一例として公営住宅の入居申し込みが可能となります。

自治体毎に条例や要綱で制度を定めることが必要です。



防犯カメラの設置は

答 次年度の設置に向け、準備を進めています



石山憲司議員

石山議員 防犯カメラは、児童・生徒が安心して通学できる環境整備として、また犯罪防止や行方不明者の捜索に有効であると考えますが、設置・運用について伺います。

また、以前の防犯カメラの質問のとき、町長答弁として「調査研究、関係機関との協議・検討をします」とありました。その検討結果について議員に説明責任を果たすべきでは。

佐々木町長 防犯カメラの設置は、犯罪の抑止効果が働くため地域の防犯力を向上させる一つの手段である、基本的に考えています。目的に沿った場所の選定など、次年度の



今後、町内でも設置される防犯カメラ

設置に向け準備を進めています。

運用に関しては、プライバシーの部分もありますのでガイドラインを定めて、町民の方々に利用目的や効果などを示し、理解をいただくよう考えています。

検討結果については、書面による報告義務はありませんが、しっかりと報告して行きたいと思っています。

公営住宅の入居要件見直しを

答 社会情勢を鑑み入居要件等や制度の調査・研究を行います

藤田議員 国は住宅確保に配慮が必要な方々が増加傾向にあるため民法改正により、連帯保証人の確保を前提とすることからの転換を求め、約2年が経ちました。

様々な住宅確保要配慮者に対応するため、セーフティネット機能を持つ公営住宅の保証人廃止と入居要件の見直しをするべきです。

①本町は債務負担の事例がなく、緊急連絡先の考えだけであれば保証人は要らないのでは。

②入居要件の見直しに向けてパートナーシップ制度の調査研究をするべきでは。

佐々木町長 ①滞納等が発生した場合100万円程度の債務が予想され、一人当たり50万円に軽減するため2人としています。管内では8町村が保証人を廃止していますが、債権を回収するため今後も保

証人は必要と考えます。

②独自の取り組みで制度化している自治体が増えていくことから、社会情勢を鑑みながら入居要件等や制度の調査・研究を行います。



セーフティネット機能を持つ公営住宅（栄町）

子育て

子ども達のマスク着用のこれまでとこれから
答 不当な差別や偏見が助長されないように対応します

梅村議員 ①マスクの着脱について、教育委員会が方針を示し、各学校長の判断と責任で学校運営がされていたとの理解が良いですか。

②マスクを着けたい方、外したい方双方の考えや事情が尊重され、同調圧力や実質的に無理強いすること等があつてはならないが、難色を示しているにも関わらず執拗にお願いを繰り返すことや、保護者からの相談に対し、教育委員会と学校で事実上のたらい回しなどはなかつたのですか。

③熱中症は屋内でも発症し全国の学校でも救急搬送される事案が相次ぎ、教育現場の負担と責任も生じる事から特段の注意が必要です。

高橋教育長 ①学校規模等に依りて学校長の判断が変わることはあり得ると理解してく

ださい。

②強要という事ではなく繰り返しお願いした経過はありますが、同調圧力など無いように対応しています。教育委員会が総合的な対応を行っており、たらい回しとの認識はありません。

③ **文部科学省からの通知**を適切に運用してまいります。



屋外でマスクを外す子どもたち

合同で活動するチームスポーツからの要望は
答 送迎について試験的運行を6月末頃から予定しています

柏崎議員 少子化の中、今後の少年団や部活動の推進について、本町においても児童や生徒数は減少傾向にあり、チームスポーツが合同となる現状があります。やりたいスポーツを自由に伸び伸び励んでもらうことが大切と考え、以下2点を伺います。

①少年団や部活動を合同で活動している現状と、合同で活動することによって要望や意見がなかつたのか伺います。

②今後も児童・生徒数の減少でやりたいスポーツができなくなり、選択肢が減ることがあつてはならないと考えますが、町の見解を伺います。

高橋教育長 ①少年団や部活動において合同チームで活動する中、保護者から送迎について相談を受けており、スクールの試験的な運行を6月末頃から数回予定しています。



チームワークは日頃の練習から！

②小学校から高校へとつながる活動体制や環境整備などについて調査研究を進めており、関係する皆様と意見交換を行うなど取り組みを進めてまいります。

文部科学省からの通知(マスク着用について)とは…

屋外で距離が確保できている場合、屋内でも会話が少ない状況ならばマスクは不要との見解を示し、また、熱中症予防について命に係わる重大な問題とし、マスクを外すことへの理解を求めよう令和4年6月に通知されました。

ものしり博士から





農業

肥料高騰、農業新技術・高収益作物等の研究推進を

答 関係機関と情報交換し、検討を進めたい

阿保議員 ロシアのウクライナ侵攻の影響で、諸物価が高騰し、農業ではJA全農が肥料価格を最大9割引き上げるとしました。町としても肥料高騰に対応していくことを目指し新技術・高収益作物の研究推進を図るべきと考えます。

佐々木町長 肥料平均で過去最高の78%の値上げで、農業に大変な影響が及ぶものと危惧し、国、道に強く支援要請をしていきます。

新技術・高収益作物研究は家族経営、労働力不足などの諸課題があり、新規作物の導入には至っていませんが、関係機関とさらに情報交換し、検討を進めたいと考えます。



肥料高騰の影響を受ける農業

阿保議員 研究段階のリスクは町が担うべきです。また、現在、キャベツやニンニクが一部で栽培されていますが、町の継続的な支援が必要と考えます。

佐々木町長 特に生産者が求める支援は積極的に行ってきたいと考えます。



行政

悲しむ町民、切られた御所周囲のすももの木

答 伐採が一番効果的な対処方法と判断しました

梅村議員 すももの実を採る町民を迷惑に感じる御所利用者もあり、苦情が寄せられた事もあるが、町民との対話もなく、義経の里御所の周囲に植えられたすももの木32本を切り倒すことは極めて乱暴で、その対応を知った町民からは悲嘆の声が上がっています。苦情件数も年間利用者約1,100人のうち2〜3件で1%未満です。事前に申し出るようにしたり、一緒に片づけをお願いしたり、やりようがなかったのか。町民と対話をして、どうやったら協働ができるのか、シヤム作りなど体験型の宿泊や、本別公園の新しい楽しみ方を提案すべきです。

佐々木町長 早朝より木を揺すり採取されている方もあり、果樹採取禁止と立て看板も設置しましたが効果が少なく、御所施設管理上の観点と利用



すももの木 ビフォーアフター（御所の周囲）

者の安心・安全などから74本のすももの木のうち、32本を伐採しました。本別公園の整備は、今後、町民懇談会を開催する際に、多くの声を頂戴するよう考えています。

意見書

第2回定例会では意見書が3件提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る意見書

各国では食料の安定供給を図る食料安全保障を最重要課題として取り組んでいます。

我が国では、新たな「食料・農業・農村基本計画」で、2030年度までに食料自給率を現在の37%から45%へ引き上げる目標を掲げています。

よって、国においては、我が国の食料安全保障の強化と国民への理解醸成を図ることを強く求めます。

提出者

阿保 静夫



北海道農業の基幹作物てん菜の生産を守ることを求める意見書

てん菜は北海道農業の基幹作物として重要であり、てん菜糖は砂糖の自給率40%を支えています。しかし、国内産糖量64万トンの枠を削減する動きが強まっております。大きな問題となっております。

よって、自給率引き上げのために、てん菜生産、製糖業者への支援を強めること、国の責任で輸入調整金の収支改善を図ることを強く求めます。

提出者

阿保 静夫



森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

ゼロカーボン実現に向け、適切な間伐と伐採後の植林推進、森林整備事業予算や防災・減災対策に必要な治山事業予算を確保すること。また、森林づくりを担う人材の育成、確保支援を充実・強化すること。

提出者

山西 三夫



議会用語の解説

《請願》

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、単に、議会本来の権限事項を処理するだけでなく、町村の事務や議会の権限に属する事項全般に関する請願を受理し、これを処理する権限を有します。

請願とは、憲法第16条に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為です。地方議会に対する請願は、必ず紹介議員が紹介して、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所及び氏名を記載した文書で行わなければなりません。

請願は、議会において審査し、採択又は、不採択を決定して、その提出者に通知します。

写真で見る議会活動 その1

町民植樹祭に参加しました (林活議連)

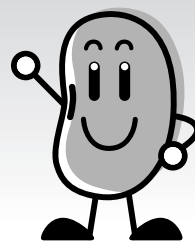
5/21



2年ぶりに開催された町民植樹祭に議員8人も参加し、青空の下、参加された町民の皆さんと共に、カラマツ500本の苗木を町有林に植樹しました。

追跡

どうなったベ？



平成30年より始まった一般質問追跡コーナー。議員が行った一般質問が、その後の町政にどのように反映されたのか、お知らせします。

その質問

災害避難所にもエアコン設置を
(令和3年6月定例会 議会だより98号に掲載)

質問

藤田議員

福祉避難所でもある健康管理センターは、子どもの検診や多くの町民の健康相談の窓口にもなっている。公共施設の快適な温度管理は、平時の住民サービスとしても必要ではないか。

昨今の暑さ等を含め公共施設全体の暑さ対策、熱中症対策は検討が必要になってきます。より快適な施設運営ができるよう努力していきます。

答弁

その後

健康管理センターにエアコンが設置されました



**未来を担う児童生徒の
学びの環境を**

(令和2年6月定例会 議会だより94号に掲載)

質問

梅村議員

新型コロナ・熱中症対策として各学校に扇風機の増設やエアコン導入の考えは。

扇風機を1教室につき2台の設置について検討します。エアコンは感染拡大事例や費用面から現時点で、導入は考えていません。

答弁

その後

扇風機を2台設置し、保健室にはエアコンが設置されました

一般質問後まもなく、扇風機が各教室に2台ずつ設置されました。また、令和3年には各学校の保健室にエアコン1台が設置されました。



出産祝い金の創設を

(令和3年10月定例会 議会だより99号に掲載)

質問

藤田議員

未来を担う子どもの誕生を祝い、誕生記念品ではなくて近隣町村も実施している、出産祝い金の贈呈が望まれています。出産祝い金の創設の考えは。

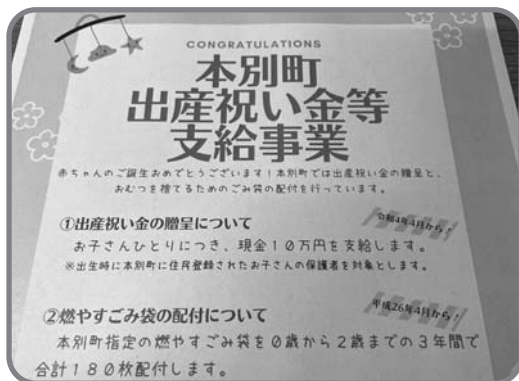
子育て世代に選ばれるまちづくりという観点で、少子化対策、移住対策など子育てに関する施策全体の中で町民の皆さんの声を広く聞き検討していきます。

答弁

その後

出産祝い金の贈呈が新設されました

令和4年4月以降に生まれたお子さん一人につき現金10万円が贈呈されるようになりました。また、平成26年から実施されている、おむつを捨てるための燃やすごみ袋の配布も継続されています。



選挙公報を発行し さらなる町民参画促進を

(令和2年6月定例会 議会だより94号に掲載)

質問

梅村議員

町長及び議員選挙の選挙公報は、立候補者の公約や主張などが有権者に周知され、投票の判断材料となる。速やかに条例制定と選挙公報の発行が必要ではないか。

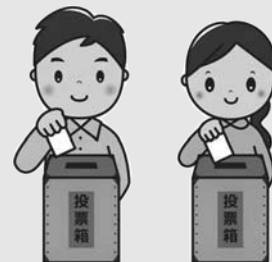
選挙公報の発行について、選挙管理委員会において検討を開始しています。その結果を尊重しながら令和2年中に町として見解を出します。

答弁

その後

令和3年の町長選挙から選挙公報が発行されることになりました

令和2年12月に条例が制定され、町長及び町議会議員選挙時に選挙公報を発行し、有権者が各候補者の氏名、経歴、政見等について知る機会の拡充が図られました。



写真で見る議会活動 その2

全道議員研修会（札幌市、白老町）

7/6~7



令和元年度以来となる議員研修会に全議員で参加し、資質向上を図りました。また、翌日には白老町のウポポイ（民族共生象徴空間）を見学し、アイヌ文化の見識を深めました。

議会基本条例の 検証結果の 公表について

議会のホームページにて、今期4年間の議会基本条例の検証結果や各議員の自己評価について公表をしています。

本別町議会 取り組み

検索 

所管事務調査

委員会レポート

総務

常任委員会

通学時の交通安全保持について

調査日／令和4年5月12日

1. 通学路の指定については、学校保健安全法の規定に基づき、児童・生徒等の安全確保を図るため、学校までの合理的な経路、歩道の有無、道路の幅、防犯面などを判断材料として学校長が指定します。

2. 通学路合同点検の実施は、町内小中学校、PTA、本別警察署、各道路管理者、教育委員会などで、通学路に係る課題について連絡調整・情報交換・通学路点検等を行っています。

3. 交通安全指導は、小中学校では毎年、学習指導要領を踏まえた交通安全教育として、下校指導、登校時の街頭指導、交通安全教室、自転車登校生徒への指導等が行われています。



安全に楽しく登校する子どもたち

まとめ

通学路の合同点検は概ね5年に一度開催されており、冬期間の点検も行っています。

これまで事故等はなかったものの、構造上や法的に改善、対応ができないところは、危険回避のために対応が必要と考えます。

児童・生徒が毎日利用する通学路の環境整備や交通安全指導は重要です。関係団体との情報交換、連携などをしっかり行い、今後とも安全の確保に努めていくことを望みます。

行政視察調査

議会運営委員会

行政視察

議会中継システム先進地視察研修

調査日／令和4年4月20日

1. 音更町議会

平成20年からインターネットを利用し、議会のライブ中継、録画配信を行ってきました。現在はYouTubeで配信し、スマートフォンやタブレット端末で視聴できます。

配信はライブ中継と編集後の録画を配信しています。中継作業は議会事務局職員2人に対応し、マイク操作やテロップ差し込みなどを行っています。

2. 池田町議会

町営有線テレビ、光ケーブルのインターネット配信を経て、現システムは令和3年12月に全面更新しました。カメラのデジタル化やYouTube配信の活用で画質は大幅に向上しました。配信は本会議や特別委員会のライブ中継と編集後の録画配信をしています。

また、「池田町議会ユーザー」を定めています。

まとめ

議会議中継システムの視察を終えて、本町の運用に当たっては、「利用条項、あるいは要綱を定める必要がある」「動画配信サービスと並行して、議会に興味を持ってもらう工夫も必要」「中継システムの他の利用方法についても研究が必要」との意見がありました。



運用に向けて視察（音更町議会）

行政報告

第2回定例会（6月7日開催）において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

令和3年度町税等の収納決算見込みについて

町税は、現年度分の調定額が9億5,199万1千円に対し、収納済額は9億4,864万4千円で、99.6%の収納率となり、前年度比0.2ポイントの増となりました。

また、滞納繰越分は調定額が2,613万1千円に対し、収納済額は651万1千円で、24.9%の収納率となり、前年度比5.3ポイントの増となりました。次に、国民健康保険税は、現年度分の調定額が2億5,896万円に対し、収納済額は2億5,447万7千円で、98.3%の収納率となり、前年度比0.5ポイントの増となりました。また、滞納繰越分では調定額が2,392万5千円

に対し、収納済額は638万6千円で、26.7%の収納率となり、前年度比2.0ポイントの増となりました。

町税の現年度と滞納繰越分を合わせた収納率は97.7%となり、前年度比0.6ポイントの増となりました。また、国民健康保険税は1.3ポイントの増となったところです。

新型コロナウイルスワクチン接種事業について

国は、4回目のワクチン接種は新型コロナウイルス感染症の重症化予防を目的として行うとしており、本町も、現在接種体制の整備を進めています。

接種対象は、厚生労働省通知に基づき、3回目の接種終了から5か月以上が経過した60歳以上の方、18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方で、本町においては2,400人程度の接種を見込んでいます。

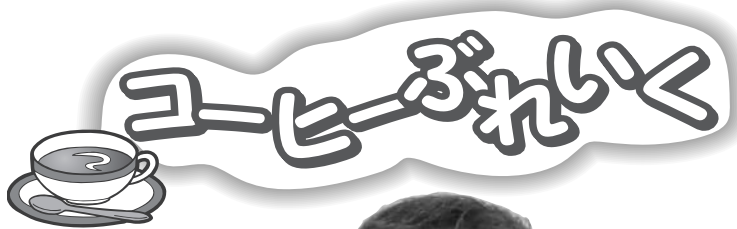
町としては希望される方すべてが接種を受けられる

よう、取り組みます。接種の開始時期と方法については、60歳以上の方が8月下旬から、18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方は9月下旬から、それぞれ総合ケアセンターを会場とする集団接種を予定しており、3回目までの接種については、引き続き町国民健康保険病院にて個別接種の体制を維持していきます。

議会日誌

〔 5 月 〕	10日	議会運営委員会	
	12日	総務常任委員会所管事務調査	
	19日	議会運営委員会	
	21日	町民植樹祭（林活議連）	
	25日	十勝圏活性化推進期成会総会（帯広市）	
	30日	議員協議会	
	31日	一部事務組合議会（帯広市）	
〔 6 月 〕	3日	議会運営委員会	
	7日	第2回定例会開会	
	9日	議会運営委員会	
	14日～15日	北海道議長会定期総会（札幌市）	
	16日	本会議（一般質問）、本別町林活議連総会	
	17日	本会議（議案審議）、広報広聴常任委員会	
	23日	議会運営委員会	
〔 7 月 〕	1日	広報広聴常任委員会	
	4日	議員協議会	
	6日～7日	北海道町村議会議長会議員研修会（札幌市、白老町）	
	12日	広報広聴常任委員会	
	19日	広報広聴常任委員会	

**次の定例会は
9月6日開会
13日一般質問を
予定しています**



岡崎 康一さん（北4丁目）

本別公園の 有効利用を

今回は北4丁目にお住まいの岡崎康一さんにお話を伺いました。

岡崎さんは、3月に佛山中を退職され時間ができ、お父様が議員であったこともあり、以前から議会を観たかったとのことで、初めて議会傍聴に來られ一般質問を傍聴されました。

傍聴した感想を伺うと、「議員の皆さんは、現場を見て調べて質問をしている

と感じました。役場の方も責任もって答弁をされていて、仕事関係で知っている人もいたので、ドキドキしながら応援する気持ちで見えました」と話されました。一般質問について伺うと、「少年団活動や部活動についての質問に興味があり、子どもの数が減り、先生の対応も大変なのかなと考えさせられました」「今後検討しますと答弁のあった一

般質問について、その後が気になります」と語られました。議会だよりでは、「一般質問の追跡コーナー」で検討しますと答弁のあったその後について掲載をしていますのでご覧ください。（10ページ、11ページ）

議会だよりについて伺うと、「中身をあまり読まないですが、知っている人が写っていたりする写真は見えています」と話されました。

また、これからの議会については「議員は様々な年齢層の人たちがいたほうがいい」という意見をいただきました。さらに、これからのまちづくりについて伺うと、本別公園の整備計画に興味があり、本別公園を有効利用して欲しいとのことでした。

今は、本別公園など街中を散策すること、本別野球倶楽部に入り野球を始めたいこと、ドラム缶でハム・ベーコン作りを趣味の一つとして楽しんでいるそうです。

終始和やかな雰囲気でお話をお聞きし、貴重な御意見をいただきました。

8月10日に臨時会を予定しています

開 会：午前10時から

主な審議内容

- ・議長の選挙
- ・副議長の選挙
- ・各委員会委員の選任
- ・議案審議 など

議会のホームページでは定例会・臨時会の会議録や過去の議会だよりなどを閲覧することができます。



本別町議会

検索

編集後記

議会だより102号の編集を終え、本委員会では2年間、町民の皆様には読まれる議会だよりを目指して編集に励んでまいりました。

楽しく作らなければ、町民の皆様にも楽しく読んでもらえないと思い、活発な意見や笑いもある中、委員と事務局の協力で前向きな編集作業を進めることができました。

次号から委員会構成は変わりますが、今後とも手に取って読んでもらえる議会だよりを目指していきたいと思えます。

最後に、ご協力いただいた皆様にも心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

委員長	柏崎 秀行
副委員長	水谷 令子
委員	藤田 直美
	石山 憲司
	黒山 久男